

週報

2015年15号(4月5日～4月11日)

2015度宣教テーマ(案)

「一人のために」

ルカによる福音書15章1節～7節

< 巻頭言 >

『人は変わる』

使徒言行録2章14節～36節

イースターおめでとうございます。ご存知のようにイースターは、イエス・キリストの復活を記念する日です。世の中では、クリスマスが最も有名なキリスト教のイベントかもしれませんが、歴史的には、イースターの方が、教会において大切に覚えられてきた日ではないかと思えます。

復活は、キリスト教信仰の根拠であり、出発点です。復活がなければ、戸に鍵をかけて隠れていた弟子たちは、きっとその扉の中から外に出ることはできなかつたでしょう。弟子たちの前に、死んだはずのイエス様が現れ、神によって復活させられたことを語る。そして、弟子たちは、そのことの証人として、イエス・キリストの復活を語り、イエスこそ本当の救い主であると伝えるよう、使命を与えられるわけです。

しかし、弟子たちはすぐに、そのことを宣べ伝え始めたわけではありませんでした。最終的に、彼らを押し出したもの。それは、聖霊の力でした。パウロは、「神の霊によって語る人は、誰も『イエスは神から見捨てられよ』とは言わないし、また、聖霊によらなければ、誰も『イエスは主である』とは言えないのです」と書いています。私たちは、聖霊の働きを通して、イエスこそ主であると告白する者にされていくのです。

聖霊とは、麻薬のように、私たちの感情を高ぶらせ、楽しいと錯覚させたり、興奮させたりするものでは決してありません。聖霊は、ただただ、イエスこそ主であると告白させる神の力です。私たちは、この聖霊の働きによって、告白する者へと作り変えられていくのです。

(村田悦牧師)



教会創立 1950年8月7日(教会組織)

日本バプテスト連盟 大分キリスト教会

〒870-0045 大分市城崎町2丁目6番22号

Tel/ 097-532-4240 Fax/529-5240 牧師 村田 悦

http://blogs.yahoo.co.jp/oita_baptist_church

Mail:oitabap@violin.

ocn.ne.jp